

令和5年度 市長への提案

【募集期間】 広報12月号掲載 令和6年1月12日締切

市長への提案として、貴重なご意見を賜り誠にありがとうございます。お寄せいただいたご提案の一部を公表させていただきます。
なお、個人が識別される情報や要望は除き、提案内容は趣旨の変わらない範囲で簡潔に要約し、投稿要旨として掲載しております。
よって、いただいたすべての提案を掲載していないことをご理解願います。
回答は、提案者へ回答させていただいた令和5年度時点の内容となっております。公表時点（令和6年6月）の状況を追記している場合もございます。

今後とも、ご意見・ご提案をよろしくお願いいたします。

提案内容（投稿要旨）	回 答
○消防団活動について 消防団ですが、強制的にやるものではないと思うので、自治会から1人出せとかそういう考えは間違っていると思います。今の若者はやりません。 市長について、今までと何も変わらないなら誰がやっても同じです。少し頑張ってもらいたいです。	（防災安全課） 消防団につきまして、「自治会に1人だせ」という状況から、自分たちの地域を自分たちで守るためには、どのような役割分担が必要かを改めて考えなければなりません。現在の行政だけでは、大きな災害の際に手が回らないのは明らかであり、また、それを行政だけに任せるにはもっともっと多額の税金が必要であり、現実的には不可能です。 若い世代では地域での支え合いに対する意識が低下し、また、働き方や家庭の変化から消防団への所属が困難になっていることもご指摘のとおりです。しかし、そのような中、地域のために活動してくださる方がいることも事実です。地域に住む仲間の中から選出された消防団員は、地理的に地域を熟知している点や、住民間のつながりの中で生まれる緻密な情報網が強みとなり、安心して地域の安全を任せることができます。 全国的にも、消防団員の確保は年々課題となっておりますが、団員の負担軽減と魅力的な組織づくりを目指し、より実践に即した訓練の導入や訓練の

	効率化などの改善策を進めておりますので、地域の防災リーダーである消防団活動につきまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
○中山道に関する提案について 歴史的町並みを利用して、誰もが楽しめる道にするための「中山道の食べ歩き」を提案します。 ①中山道にどのように出店してもらうかについて。 現在の中山道には、店を出店させるほどの十分な土地がありません。だからといって立ち退きや買収はできません。中山道周辺、市役所付近、木曽川堤防沿いなどに少しだけ出すのでしょうか。 ②どのような店を出すか、募集するかについてです。 今、りんご飴、いちご飴、たこ焼き、１０円パンなどのように、人々の発想を越える物が人気です。 そこで、飲食店（チェーン店など）を小型店舗として出店し、ベンチに座って食べることができるなどといった工夫をします。 次にどのように募集するかですが、人口、時間帯、土地利用といった問題があります。そこで、周辺にバス停を作るなどして、あい愛バスを利用できるような形になればいいです。東中学校の「シンポジウム」にもつながると思います。問題点として、ゴミ箱の設置や回収などといった労力が増えること予想されます。 また、これは中山道じゃなくても良いです。「学びの道」でも良いし、キッチンカーの出店や募集でもいいです。美濃加茂の良さは、やっぱり市民が協力して何か一つに向かってやっていくことだと思うので、できたらいいなと提案します。	（商工観光課） 中山道太田宿は、美濃加茂市の貴重な観光資源の一つであり、当市においてもより多くの方に来訪していただき、歴史ある街並みを散策していただきたいと感じております。 当市では、中山道太田宿の活性化を図ることを目的として、中山道太田宿で新たに起業する方や事業を拡大する方に対し、必要な資金の一部を補助する制度がございます。毎年、中山道太田宿へ出店をしたいという問い合わせが寄せられており、実際に出店される方もいらっしゃいます。 また、中山道太田宿の賑わい創出のため、これまであった太田宿中山道会館主催のイベントに加え、近年では姫Ｂｉｚの起業支援事業による新規出店者を中心とした市民有志のイベントなども行われるようになってきました。 しかし、中山道太田宿には、食べ歩きができるお店が少ないのが現状です。より魅力的な店舗が中山道太田宿に出店していただけるように、制度の周知も含めて、できることから実施してまいります。 ご提案いただいたとおり、まちの賑わいの創出には、市民の方々のご協力が必要なものと考えております。市民の皆さまと一緒に力を合わせて、中山道太田宿に適した観光推進、美濃加茂市の観光推進をしていきたいと考えております。

○牧野ふれあい広場について

牧野運動公園、陸上競技場を公認競技場に日頃は市民の健康で安全な街づくりにご尽力くださりありがとうございます。

さて、古くは加茂高校の全国高校駅伝（大阪）出場、〇〇〇〇（〇〇中）、〇〇〇〇（〇〇中）最近では〇〇〇〇（〇〇中）、〇〇〇〇（〇〇中）、美濃加茂高校女子4年連続の全国高校駅伝（京都）出場、今年是全国小学生交流陸上競技大会（横浜国際）で美濃加茂Jr男女混合4×100mリレーの2位入賞とジュニア層の活躍には目を見張るものがあります。

陸上競技場が計画されたときは300mトラックで土の競技場で、なぜ今負の資産になるような競技場かと思いました。藤井市長のご尽力で400mトラック全天候と決定され、おおきな期待をしましたが、今年4月の市議会で、陸上競技場は未公認とするとの答弁されたようです。確かに資金面の問題もあるかと思いますが、中池陸上競技場（関市）継続公認申請の断念で中濃地区から公認競技場がなくなり、地区の競技会は以前に戻り、メモリアル長良川競技場（岐阜）や土岐市の競技場まで出かけることになります。今年、中濃地区競技会を中池陸上競技場で行いましたが、記録は未公認競技会として開催されたようです。競技者、陸上人としては非常に悲しい出来事です。

是非、これからの子供たち、青少年のため、また可茂地区になくてはならない公認陸上競技場に計画変更を特に希望します。

ベストは2種対応の3種競技場（4種は可能か検定員に確認）の公認でそれは3種、4種だと3000m障害水濠の設備が規則では「無くても可」からです。

一般社会人が仕事終わってから夜練習できるよう、またナイターで公認長距離競技会ができるようトラックの周囲に足元が見えるような照明設備を。なくてはならない（記録が未公認になってしまいます）写真判定装置を。

（スポーツ振興課）

牧野ふれあい広場につきましては、園内に美濃加茂市初の400mトラックを備えた陸上競技場も計画しており、開園後は多くの市民の方々に長く愛される施設となるよう、令和7年度中の開園を目指して現在整備を進めております。

ご提案をいただきました公認陸上競技場の整備につきましては、第4種、もしくは第4種L（ライト）の公認取得に向けて必要な手順を経て進めてまいりましたので、公認取得ができる規格での整備をしております。

しかし、検討を重ねる中で公認を取得した際にかかる経費と今後の施設利用の見通しを鑑みて、今回の陸上競技場新設時の公認取得は断念をしたものであります。

美濃加茂市陸上競技協会や陸上関係者の方々のご意見も伺い、県内他市施設の状況も考慮した結果の判断となりました。

また、地中には埋蔵文化財が点在していることもあり、ナイター照明の設置や観客席のスタンドを設置することができませんでした。

近年は地元小学生や高校生が全国を舞台に活躍されており、また、美濃加茂市出身の陸上選手には偉大な記録を残された方もおられます。牧野ふれあい広場陸上競技場が、市民の陸上競技熱を更に高め多くの方に親しんでいただける施設となるよう、備品等の充実にも努めてまいります。

以上記しましたが写真判定による公認記録、3000m障害の開催できる公認陸上競技場を是非造ってください。	
○観光事業について（写真コンテストの開催「美濃加茂新百景」） 人口約3,000人の七宗町では毎年行われています。入賞作品は町の広報紙に使用されます。一石二鳥だと思います。開催目的は主に美濃加茂市の観光産業を、広く隠れた名所も合わせて発見する事に有ります。そもそもモネの池が話題になった様に、何か話題性にすぐれた場所が見つければ観光にもつながるかもしれません。 モネの池有名になる前から知っていたので今はあんな所がと思ってます。	（商工観光課） 毎年のフォトコンテストの実施はございませんが、市主催、または市が後援した美濃加茂市観光協会主催のフォトコンテストにつきましては、過去何度か実施をしております。 しかしながら、ご提案いただきましたとおり、観光資源はどこにでも眠っている可能性がありますので、新たな観光資源の発掘、既にある観光資源のブラッシュアップを図るためにも、フォトコンテスト等の事業の実施について、今後考えてまいります。

○スケートボード・BMXの練習場所について

子ども達が自由にスケートボードやBMXを練習できる場所を公共で作って欲しいと思っています。

最近、スケートやBMXの練習をしている子達を見かける事が増えてきました。岐阜出身のプロの子供も増えてきていて、そのカッコ良さから、スケート、BMXを始めた子が多くなったのだと思います。このスポーツは、本当に努力が必要でキケンも多く、それをがんばって練習している子ども達のイメージが悪いものになるのは、練習できる場所が無いのが原因です。美濃加茂市は川の近くにも、山の近くにもスケートパークにできそうな広い土地があります。近年は、リバーポートパークや里山が、若者が集まりたくなるスポットになって、太田町にもオシャレな人が集まって来ていると感じます。

今スケートパークを一般の人達も見られる様な場所を作って、子ども達がどれくらい大変な練習をくり返しやってすべれる様になっているのか、スケートやBMXを知らない人達や、悪いイメージを持った人達に見て、理解してもらえる場所を作って欲しいのです。

世界的にも日本人はスケートボードのレベルが高く、これからも人気は高くなると思います。スケートを、BMXを楽しみたい市民の為の場所なら、高山市や不破郡垂井町のような小さなスケートパークでもいいです。でも、中津川公園の様なパークもあれば、県内のスケーター達が練習に集まるパークができれば、美濃加茂市に若いパワーが増えると思います。

町中でスケートをして悪いイメージつけられる子達も、集まればレベルもマナーも学んでいく事ができます。

田舎だけど若者が集まる活気のある美濃加茂になるのではないかと思います、提案させていただきます。

(スポーツ振興課)

東京オリンピック2020では、スケートボード、サーフィン、スポーツクライミング、バスケットボール3人制、自転車のBMXフリースタイルが採用され、いわゆる「アーバンスポーツ」、「ストリートスポーツ」も大変関心が高まっているところであります。

若者のスポーツ離れも叫ばれており、時代の変化に応じたスポーツ施設等の対応も大変重要な課題であると認識しております。

今後、様々な課題解決も必要ではありますが、スポーツを活用した活気のあるまちづくりに取り組んでまいります。

○交通手段について（自転車と乗れるあい愛バス）

美濃加茂市に引越して1年が経ち、車移動の重要性をととも感じています。それにかわりガソリン代の出費、運動不足も感じています。

あい愛バスに乗りたいと思っても、時間があわなかったり目的地まで行けなかったり…とでなかなか使えないのが現状です。

もし、あい愛バスに自転車に乗せることができたなら目的地まで行きやすくなるし、行動範囲がととも広がります。

少しでも車に乗る距離が少なくなれば、健康の為、環境の為になり、あい愛バスが多くの方に使っていただけるようになるのではと思い提案させて頂きました。

あわてて記入し読みにくい字で大変申し訳ありません。よろしくお願い致します。各地域にサイクリングコースみたいなのもあればそれを目的に利用してくださる方も出てくるのでは…とも思います。

（まちづくり課）

現在、あい愛バスは9路線あり、乗客数が特に多い3路線はバス車両、他の6路線は道路状況に合わせてワゴン車両で運行させていただいています。ワゴン車両では、車内が狭いため車椅子は不可、ベビーカーに限っては折りたたみでの乗車は可能とさせていただいています。また、バス車両では、車椅子やベビーカーでの乗車は可能とさせていただいています。

どの車両も出来るだけ多くのお客様に乗車いただけるように定員を設定し、客席を確保させていただいています。ご提案いただいたように、自由に自転車に乗せることが出来ると良いのですが、「乗客が多い状況ではお断りせざるを得ないこと」「仮に車内で他の乗客と接触事故が発生した場合には責任を負えないこと」「お客様の状況によっては自転車の乗降に時間を要しダイヤの遅延につながる可能性があること」などを考慮し、現在の限定的な対象物のみを可能とさせていただいています。

今回のご提案を受け、運行管理者として運行事業者や乗務員と話し合いをさせていただきましたが、やはり自転車をご持参されてのご乗車は「不可能」との結果となりました。ご要望に沿えず大変申し訳ありません。また、公共交通の再編については時間を要しますが、ご利用いただきやすいものとなるよう検討してまいります。

○老後の生活で思うこと（商業施設の誘致について） スーパーか雑貨店を中蜂屋、下蜂屋に誘致してほしい。私は妻と2人暮らしで、自動車の運転が無理になった時に、買い物で富加や太田まで行く事が無理になります。 あい愛バス利用には、バス停が遠いし利用出来ても行きは良々、帰りは何とやらでは、買い物をしても待ち時間が1時間以上では利用出来ない。中蜂屋～下蜂屋の間。 あい愛バスが中部国際医療センターへ直通で行けると、老後になった時に乗り換える事なく行く事が出来ると利用しやすくなると思う。	（まちづくり課） 現在は、定時定路線で9路線を運行させていただいていますが、「目的地に行くのに乗り継ぎが必要で時間がかかりすぎる」「路線が多く複雑で目的地への行き方が分かりにくい」「バス停が遠い」などのご意見を多くいただいております。 そこで、お一人おひとりがバスをもっと利用しやすくなるように「乗合による予約に応じて乗降場所や経路を変更可能」で「予約時間に希望場所で乗車し最短ルートで目的地に行ける」A I デマンド交通システム の導入の検討を始める予定です。
○標語について（山ノ上のサクラ） 1. “プライドみのかも” 標語の提案 美濃加茂市民の誇りとなる文化財、環境財（景観）を支える地域の活動を讃え、市長として賞する標語を創ってはどうかでしょうか。 例えば、“山ノ上のサクラ”には“プライドやまのうえ”の思いが地元にあります。こんな思いを標語にして市全域に広げたら…。まちづくりや観光資源、文化財保護の活性化になると思います。市のリーダーシップで仕掛けたらどうでしょう。	（文化振興課） 文化振興課といたしましては、文化を通して市民の方々が美濃加茂市に誇りを感じていただけることを大切にしております。 市民の方がお住いの地域それぞれに大切にされている宝（プライド）がありだと考えておりますので、そのような地域の宝を活かしてまちづくりに繋がるような取組の一つとして、地域の文化資源の登録制度のようなものがないか、検討してまいります。 【R6年5月時点の状況】 美濃加茂市では現在、市内にある様々な文化財とそれを取り巻く環境等（「みのかも地域文化資源」と呼称予定）を把握し、現在の課題を明らかに

	した上で、今後の施策（取組）などを定めた計画（「美濃加茂市文化財保存活用地域計画」）の作成を進めています。 計画では、「登録」という手法を用いて、地域で大切にされる「みのかも地域文化資源」の適切な評価を行い、その結果として「守る」「共有する」「活かす」「みんなで支える」「つなぐ」といった将来へつなげられるような取り組みを進める必要があると考えています。
○山ノ上のサクラの復旧について 2. “山ノ上のサクラ” 復旧のための来年度の取組みについて 山ノ上のサクラは、山之上財産区に管理責任がありますが、今年7月6日○ ○名誉教授 ○○先生の診断（立合い）後、市（総務課）は同財産区にどのようなご指導をされたのでしょうか。財産区予算は総務課の決定とのこと。 来年度特別会計（財産区予算）への計上額を知りたいのです。サクラ復旧のためには、文化財対応としての作業で土壌調査、改良、特別な資材や県への報告書作成等で200～300万円が必要と聞きます。 山之上財産区会計には、財産区基金が現在高で約1,700万円ありますが、山之上住民はこの基金が地元のために使われることを望んでいます。同基金（一部が）を“山ノ上のサクラ”復旧のために予算化されることを提案します。地元住民の中では、この声はだんだん高まりつつあります。 なお、山之上小学校150周年記念として、桜周辺の広場に、記念看板の設置が決定してます。地域が見守るサクラが“山之上の誇り”なのです。	令和5年7月6日に行われた○○名誉教授の○先生による診断結果に基づき、文化財を担当している文化振興課や、山之上財産区と協議のうえ必要な予算を計上し、令和6年度に対応する方向で調整しております。 現時点で山之上財産区の具体的な予算額はお伝えできませんが、市及び山之上財産区の方針としましても「サクラの保護を最優先」に考えております。 引き続き、市・地元住民・事業者それぞれと連携し、必要な対応を行ってまいります。

○公務員の資質について

新庁舎ワークショップの最終時に市職員のゴミ出しについて発言しましたが、小さな問題提起だと思われるかと思いますが、小さなほころびが大事になることも考えられます。

今、私が懸念するのは新庁舎の場所や建物の大きさではなく、昨今の公務員の資質です。当県に於いても県〇〇部長や〇〇市課長補佐の問題もあり、今回の庁舎建替についても50～60億円の費用が掛かると聞いております。懸念するのは多額のお金には建設土木・不動産等に利権が生じる可能性があり、隙間に悪徳業者が入り込まないとも言いきれません。

3回のワークショップに於いても聞く事はなかったですが、不正防止についてのプロジェクトは一般市民が知らないだけで、もうとっくに発促していると思いますが、大々的にアピールしても良いのではないかと考えます。（予防線）不正防止については、市長が一番敏感に感じてみえる方だと存じます。

せっかくの新庁舎建設に職員（含議員）による悪いうわさや不正が行われる事が無い様、誠実に働く若い職員と共に美濃加茂市の未来を築いてもらいたいと思います。余計な一言と思いましたが、より良い職員がいれば市民も市発展に参加してくれると願っています。

（追伸）不正防止プロジェクトがありましたら、教えて頂けるとありがたいです。

- ・発足時期
- ・規模
- ・庁舎内の立ち位置等

（キャリアサポート課）

職員は、公務員として高い規範意識を持ち、不正行為との疑念を抱かれるような行動は厳に慎まなければなりません。そうした公務員としての当然の姿を追い求めるものとして、組織全体として不正防止に取り組んでおります。

公務員としての自覚を喚起し、不祥事の防止に資することを目的として、公務員倫理関係の資料や懲戒処分に該当する場合の基準等を職員間で共有を図っております。

また、適宜、綱紀保持や服務規程の確保のための通知の発信を行うとともに、不適正事務処理事案等の発生や職員の懲戒処分等に関する情報を全職員に共有し、同じ過ちを繰り返さないことや職員として適正な事務の執行や規律ある行動への意識の醸成に努めております。

令和5年度には、相次いで明らかとなった不適正事務処理事案に対し、行政実務適正化アドバイザー（弁護士等）の助言を得ながら、職員が一定の水準を満たし、安定的、継続的に業務を遂行するために欠かせない事項をまとめた政策執行の指針を作成し、職員へ周知をいたしました。

今後も、市民の皆さまから信頼され、求められる職員、市役所であり続けるために職員一丸となって業務に精励してまいります。

○体育館の活用について 牧野のふれあい広場はスポーツ振興を図る為の広場だと聞いていましたが、先日〇〇議員の市政報告会で防災公園である事を知りました。災害対策としていざという時に自衛隊の活動拠点になるという説明でした。 でしたら、防災公園に併設、或はできるだけ近くに公式の記録をとれる、又色々なイベントやちょっとしたコンサートなど、に活用できるような設備を兼ね備えた大型の体育館、自衛隊の方々も市民もより安全安心に活用できるような「美濃加茂防災総合体育館」を造ってはどうか？	(スポーツ振興課) 牧野ふれあい広場は、美濃加茂市地域防災計画において地域防災拠点に位置付けられており、市域の東側地域の防災の要、防災拠点となる公園整備を進めており、令和7年度中の開園を目指しております。 ご提案の「防災総合体育館」につきまして、牧野ふれあい広場周辺は、埋蔵文化財の包蔵地であるため、構造物の建設などの施設整備は一定の制限があることから、体育館等の建設は難しいと考えております。 今後も市民の皆さまや防災活動に従事される方々にとっても使いやすい、安全安心な公園整備に努めてまいります。
○おん祭MINOKAMOについて 今美濃加茂市では夏の陣、秋の陣と成功を収めています。そこで、次は春の陣というのはどうでしょうか？ 「おん祭みのかも春の陣！」 里山野外コンサートや里山公園野外フェスなど、歌手であったり、吉本などお笑いであったり…。その為には資金が必要になりますが、そこは各企業をはじめ、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、商工会、教育委員会、青年会議所などできるだけ多くの方々の力を借りてお祭りにしてみてもどうでしょうか？ そこで大切な事は、1回目で満足できる結果がでなくても、1回こっきりで終わるのではなく、夏、秋の陣と同じように毎年継続して行く事が大事だと思います。色々な事を足したり引いたりして、より利益を生める春の陣にしてはどうでしょうか？一介の主婦の浅知恵ですが参考にして頂ければ幸いです。	(商工観光課) いただいたご意見は、おん祭美濃加茂実行委員会において共有し、より魅力ある「おん祭MINOKAMO」となるよう、今後の運営の参考とさせていただきます。 また、ご提案いただいた音楽を活用したフェスなどのイベントは、市外から若者を中心に多くの方にお越しいただけるものと考えられます。観光振興を図るイベントとして参考にさせていただきます。

○林道等の整備について

1. 広報みのかも12月号で「みのかもの山・望む山」で岩滝山が紹介されていたので登ってみました。川辺町では鬼飛山と云い、そちらから登り、美濃加茂市側に入った途端、林道が狭くなり荒れていました。市指定史跡「坐禅岩」も登山人の気配がなく、残念でした。また、立派な東屋がありましたが、休める雰囲気ではなく、寂しく感じました。なんとか有志をつのり、整備出来ないものかを感じる次第です。

2. 牧野の馬串山も良い所で、石仏が多くありますが、倒れていたり、史跡が残念な状態となっていると感じます。里山整備等でもう少し力を入れて頂けないかと考えます。

3. 飛騨川左岸「青柳橋⇄新青柳橋」の整備について

昔は歩道があり、桜が咲いていたと聞いていましたが、現在は青柳橋下より旧水車小屋までかろうじて通れる道がある状況です。ここも景色が良いので市民の散歩道に利用出来ないものかと考えますがいかがでしょうか。

(農林課)

1. について

当該の遊歩道につきましては、従前より地元有志の方々により整備をいただいておりますが、おっしゃられるように倒木などが多くなっている状況です。

遊歩道の整備は地元団体が引き続き活動予定であり、加えて、市としても来年度に枯損木の伐採を併せて行う予定としております。

2. について

当該地区につきましては、地元の方々が北側の石碑も含めて古くから祀っておられ、大切にされているものと承知しております。

現地の状況を確認させていただきましたが、森林としては適切に整備されておりましたので、市の事業で森林整備を行う予定は現在のところありません。石碑につきましては、地元の方々が管理をされておりますので、連絡所より地元の方へお伝えさせていただきます。

(土木課)

3. について

現場を確認いたしました。どなたかが整備をされているようで、水際の秘密の通路といったところでしょうか。

大変興味深いご提案ではありますが、市民の方が安全に通行することが困難な箇所も見受けられ、青柳大橋までは途中、行き止まりとなっており残念ながらたどり着くことはできませんでした。当該通路は恐らく民有地と公有地を跨いだ通路ではないかと考えます。

現状は危険箇所もございますので、市民の皆さまにご紹介することはできません。河川際であることなどから市で整備をすることも困難となりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

○歩道橋の新設について

国道４１８号線は蜂屋を東から西へ抜ける重要な国道です。朝晩の通勤時間帯は渋滞が発生します。朝の渋滞については、上蜂屋東交差点を小学生が横断します。この交差点で歩行者信号が青のとき右左折の車は通行出来ません。この状況が２、３回発生するので渋滞が発生します。

私はＲ５．８．２４、小学校夏休みの平日に十郎橋交差点から西へ向かいましたが、十郎橋、上蜂屋東信号は２回の信号待ちで通過することが出来ました。ぜひ上蜂屋東交差点に歩道橋か地下道の設置を提案します。

私の家の近くでは美濃加茂市ＩＣスカイロード線の計画がありますが、中部台より西は道路ができてないためすっきり東西へ走れません。この道路は国道４１８号線の渋滞緩和にはならないと思います。よろしくお願いします。

（都市計画課）

国道４１８号線の混雑については、地域の課題であるとし、いただきましたご提案は、当該道路の管理者である岐阜県へ伝達させていただきました。今後の渋滞対策に向けた取組みをお願いするとともに、市としましても、県と連携して対策を検討してまいります。

なお、県では、国道４１８号の蜂屋小学校周辺（蜂屋西交差点～十郎橋交差点）において、学童が歩道内を安全に通行できるよう、順次、車両の進入を防ぐ防護柵を設置する工事を実施していますことを申し添えます。

ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。